

2026年7月30日

日清製粉グループ 第1四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

当第1四半期は増収、不安定な中東情勢によるコスト上昇局面においても営業利益は当社想定に沿って進捗し、前年並みを確保。政策保有株式を予定通り縮減したものの、売却益は前年を下回り、最終利益は減益。

通期連結業績予想及び配当予定(前期より5円増額)には変更なし。

[2027年3月期第1四半期連結累計期間決算]

売 上 高	2,176億	81百万円	(前年同期比 101.1%)
営 業 利 益	111億	97百万円	(前年同期比 99.1%)
経 常 利 益	125億	17百万円	(前年同期比 96.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	93億	49百万円	(前年同期比 80.5%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:永木 裕)の2027年3月期第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、海外製粉事業における米国の生産体制強化による出荷増及び為替換算の影響等により2,176億81百万円(前年同期比101.1%)となりました。利益面では、海外製粉事業における出荷増及び為替換算の影響、酵母・健康・バイオ事業における出荷増等はあったものの、中食・惣菜事業の販売減及びエンジニアリング事業において前年に大型工事があったこと、ならびに中東情勢に起因するコストの上昇も加わり、営業利益は111億97百万円(前年同期比99.1%)、経常利益は125億17百万円(前年同期比96.8%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式を予定通り縮減したものの、売却益は前年を下回ったこと等により、93億49百万円(前年同期比80.5%)となりました。

[2027年3月期通期連結業績予想]

売 上 高	8,700億円	(前期比 100.6%)
営 業 利 益	460億円	(前期比 98.5%)
経 常 利 益	490億円	(前期比 95.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益	410億円	(前期比 125.8%)

2027年3月期の連結業績予想につきましては、本年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、当社想定に沿って進捗しておりますが、第2四半期以降、中東情勢が当社グループの事業に及ぼす影響を慎重に見極め、各事業におけるコスト削減を徹底するとともに、販売価格の改定を適切に実施してまいります。

また、当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向を2027年3月期までに「50%目安(非経常的な特殊要因による損益を除外)」とする基本方針のもと、当初の予定通り前期より5円増額の1株当たり年間65円を予定しております。

以 上